

うなぎの未来

III

人とうなぎの共存をめざして

UNAGI



ウナギは今、慢性的な資源減少に苦しんでいる。6月12日、環境省についてIUCNもニホンウナギを絶滅危惧種に指定した。なぜ資源はこんなにも減ってしまったのか？ どうすれば回復させることができるか？ 我々はこれからも、うなぎを食べ続けることができるのか？ 問題は山積している。日本人がこよなく愛するウナギの食文化を絶やさないために、様々な考えを持ち寄り、人とウナギの共存の道を模索しようではないか。

東アジア鰻資源協議会
日本支部会・会長

塚本勝巳

(日本大学教授)



主催：東アジア鰻資源協議会・日本支部会 (EASEC Japan)
共催：東京大学農学生命科学研究科・北里大学海洋生命科学学部・日本大学生物資源科学部
コーディネーター：吉永龍起 (北里大学)

演者所属組織 (講演順)

東京大学

日本大学

九州大学

北里大学

水産総合研究センター
増養殖研究所

NHK

ロンドン動物学会

全国養鰻漁業
協同組合連合会

全国内水面漁業
協同組合連合会

パルスシステム
生活協同組合連合会

水産庁

環境省

国土交通省

中央大学

日本鰻協会



2014年7月27日(日) 9:00~17:00

会場：東京大学農学生命科学研究科 弥生講堂一条ホール (農学部内) 参加費：無料 お問い合わせ：easecq@gmail.com

うなぎの未来 II

人とうなぎの共存をめざして

2014年7月27日(日)
9:00~17:00

会場：東京大学農学生命科学研究科
弥生講堂一条ホール（農学部内）

参加費：無料

お問い合わせ：easechq@gmail.com

〈プログラム〉

9:00 開会の辞 大竹二雄（東京大学）

9:05 ご挨拶「人とうなぎの共存を目指して」 塚本勝巳（日本大学）

基調講演（座長：青山 潤）

9:10 ニホンウナギを守る 望岡典隆（九州大学）

セッション1 研究と報道（座長：渡邊 俊）

9:40 うなぎのために自然科学ができること 吉永龍起（北里大学）

10:00 異種ウナギ輸入に伴う疾病侵入リスクとその対策 良永知義（東京大学）

10:20 人工種苗量産への取り組み 田中秀樹（増養殖研）

10:40 危機は消費者にどう伝わっているか 合瀬宏毅（NHK）

11:00 ポスター発表 休憩

特別講演（座長：塚本勝巳）

11:30 IUCNレッドリスト Matthew Gollock（ロンドン動物学会）

12:00 昼休み

セッション2 漁業と流通（座長：吉永龍起）

13:00 シラスウナギ対策 村上寅美（全鰻連）

13:20 石倉設置によるウナギの隠れ処づくりと内水面漁協の取り組み 大越徹夫（全内漁連）

13:40 うなぎを食べながら守るといふこと 高野智沙登（パルシステム）

14:00 ポスター発表 休憩

セッション3 行政（座長：篠田 章）

14:30 ウナギの資源管理について 太田慎吾（水産庁）

14:50 ニホンウナギ保全方策検討調査について 榊 厚生（環境省）

15:10 ウナギと河川環境 中村徹立（国土交通省）

15:30 休憩

16:00 総合討論 モデレーター・海部健三（中央大学）

17:00 閉会の辞 吉島重鐵（日本鰻協会）

17:30 懇親会

主催：東アジア鰻資源協議会・日本支部会（EASEC Japan）

共催：東京大学農学生命科学研究科

北里大学海洋生命科学部

日本大学生物資源科学部

コーディネーター：吉永龍起（北里大学）